

平成24年度バス補助路線アセスメント対象路線に係る対応状況・方針報告書

No.	路線名	関係市町村	課題	対応策	対応者	措置(予定)年月日	左記に対する対応状況・今後の方針
1	網張温泉線 (岩手県交通) 【国庫】	盛岡市 雫石町 滝沢村	(1) 生活交通路線としての維持を図るため、観光利用の促進を図る余地がある。	(1) ① 小岩井農場や網張温泉との連携による企画乗車券を発行する。 ② 車窓の清掃の徹底、観光地案内アナウンスの実施、観光パンフレットの配架など、車内における観光客へのサービス向上を図る。	岩手県交通 岩手県交通	平成25年度	関係施設と調整の上、企画券・案内アナウンス・パンフレットの配架について検討を進める。車窓清掃の徹底を図る。
			(2) 沿線にある岩手看護短大の通学利用者の掘起しについて検討の余地がある。	(2) ① 岩手看護短大に対して、通学定期等の更なるPRを行う。	岩手県交通	平成25年度	時刻表の配布等、PRに努める。
			(3) 滝沢村姥屋敷地区住民の利便性を高める余地がある。	(3) ① フリー乗降区間を設定する。 ② 運賃上限制を導入する。 ③ 地域限定回数券等を導入する。 ④ 冬場対策として停留所に上屋を整備する。	岩手県交通 岩手県交通 岩手県交通 岩手県交通 滝沢村	平成25年度 平成25年度 平成25年度 平成25年度	関係機関と調整を図る。 収支バランスを見極めた上で導入可能か検討する。 滝沢村と調整の上、検討を進める。 滝沢村と調整の上、検討を進める。
			(4) イオン盛岡の活用について検討の余地がある。	(4) ① イオン盛岡への乗入れを行う。 ② イオン盛岡付近を経由する系統であることのPRを強化する。	岩手県交通 岩手県交通	- 平成25年度	新幹線との接続等、所要時間の関係上、乗入れを見送った経緯がある。今回についても見送りたい。 『前湯』バス停がイオン盛岡店の最寄である事をPRする。
			(5) 老朽化した停留所標識がある。	(5) ① 老朽化した停留所標識を更新する。	岩手県交通	平成25年度	適時更新を図る。
2	晴山線 (岩手県交通) 【国庫】	花巻市	(1) 鉄道や市営バスとの競合がある区間や利用者の少ない区間について、運行の見直しを検討する余地がある。	(1) ① 東和総合支所前～東和病院前間及び土沢駅～晴山間などについて、十分に乗降調査を行った上で区間の短縮を検討する。 ※区間を短縮した場合、市営バスで補完することが考えられる。	岩手県交通 花巻市	平成25年10月	実施に向けて花巻市と調整を図る。
			(2) 沿線観光施設(宮沢賢治記念館、花巻新渡戸記念館等)への観光利用について、利便性を高める余地がある。	(2) ① 沿線観光施設との連携による企画乗車券を発行する。 ② 観光客が円滑に移動できるよう、新花巻駅における新幹線との接続を考慮したダイヤに見直す。 ③ 宮沢賢治記念館への乗入れを行う。	岩手県交通 岩手県交通 岩手県交通	平成25年度 平成25年度 -	関係機関と調整の上、検討する。 現在の利用状況、要望等踏まえた上で検討する。 要望はあるものの道路が急坂である為、特に冬期間中の走行が危険である。見送りたい。
			(3) 土日を中心に利用者が極端に少ない便がある。	(3) ① ニーズを十分に把握の上、運行本数の見直しを行う。	岩手県交通	平成25年10月	ニーズを把握した上で特に影響が無い様であれば改正時に見直す。
			(4) 路線の更なるPRを行う余地がある。	(4) ① 鉄道やバスの他系統を含めた共通時刻表を作成する。	岩手県交通 花巻市	平成25年度	花巻市と検討する。
			(5) 晴山発の始発便について、花巻駅での乗換えによる通勤・通学利用に適したダイヤ設定となっていない。	(5) ① ニーズを十分に把握の上、適切なダイヤに見直す。	岩手県交通	平成25年10月	ニーズを把握した上で特に影響が無い様であれば改正時に見直す。
3	九千沢線 (岩手県交通) 【国庫】	一関市	(1) JR花泉駅での鉄道乗換え(特に下り)に適したダイヤとなっていない便がある。	(1) ① 通勤・通学利用の見込まれる朝・夕の便を中心にダイヤを見直す。	岩手県交通	平成25年度	鉄道乗継のニーズと現在の利用状況を踏まえた上で検討を進める。
			(2) 花泉方面から磐井・南光病院に通院するために利用されるシャトルバス(一関駅前発)と九千沢線との接続が十分でない便がある。	(2) ① シャトルバスと九千沢線の接続を高める。	岩手県交通	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で検討する。
			(3) 竹山発の便について、JR東北本線上りとほぼ同時間帯を運行している便がある。	(3) ① JR東北本線の運行時間帯との棲分けを行う。	岩手県交通	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で検討する。
			(4) 通勤・通学利用者等から、ダイヤの調整に関する要望がある。	(4) ① 利用者等のニーズを踏まえ、通勤・通学に適したダイヤに見直す。	岩手県交通	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で検討する。
			(5) 高齢者等に配慮した乗降場所の改善について検討の余地がある。	(5) ① フリー乗降区間を設定する(例:花泉～九千沢間)。	岩手県交通	平成25年度	関係機関と調整を図る。
			(6) 沿線事業所・学校に対する路線の更なるPRについて検討の余地がある。	(6) ① 真柴第二工業団地内事業所や一関一高・花泉高校・南小学校等に対して路線のPRを行う。	岩手県交通 一関市	平成25年度	学校に対するPRについては、全域的に取り組むべき課題として時期・方法等、関係機関と調整の上進めたい。
			(7) 路線の更なる利用促進・PRを行う余地がある。	(7) ① 花泉町内の運賃を200円均一とする。 ② 岩手県交通の系統(九千沢線以外を含む)・市営バス・JRを併載した共通時刻表を作成する。	岩手県交通 岩手県交通 一関市	平成25年度 平成25年度	花泉地区の市営バスとの調整も含めた検討としたい。 一関市と検討する。

平成24年度バス補助路線アセスメント対象路線に係る対応状況・方針報告書

No.	路線名	関係市町村	課題	対応策	対応者	措置(予定)年月日	左記に対する対応状況・今後の方針
3	九千沢線 (岩手県交通) 【国庫】	一関市	(8) JR一関駅西口バスロータリー停留所の利便性が十分でない。	(8) ① バスの行き先ごとに停留所を1基ずつ設けることにより、利用者が並ぶ停留所を分かりやすくする。	岩手県交通	平成25年度	一関駅に乗り入れている全系統の整理について検討を進める。
			(9) JR一関駅西口バス待合所内の時刻表が、利用者にとって見やすいものになっていない。	(9) ① 時刻表の貼り方を工夫し、利用者が見やすいものとする。	岩手県交通	平成25年度	待合所内の掲示物の整理、美化に努める。
			(10) 上屋などの待合施設がない停留所がある。	(10) ① 住民ニーズを踏まえ、待合所を整備する。	一関市		バスを待つ環境を整えることは、利用者の利便性の向上と利用促進につながるものと認識しておりますが、設置場所の確保や維持管理などにも課題があり、現状は地域が自主的に設置・管理しているものが多くあります。また、フリー乗降区間などの設定により、自宅近くから乗降できる方法などもあることから、待合所整備については、従来どおり地域の自主的な取り組みに委ねたいと考えております。
4	藤沢線 (岩手県交通) 【国庫】	一関市	(1) JR花泉駅での東北本線(下り)や九千沢線への接続が十分でない便がある。	(1) ① JR花泉駅での鉄道や他系統との接続を高める。	岩手県交通	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で検討する。
			(2) 千厩～花泉間の通し利用が少ないため、路線の効率化を図る必要がある。	(2) ① 路線を千厩～七日町間と七日町～花泉間に分割するなど、路線の効率化について検討する。	岩手県交通 一関市	平成25年度	一関市と調整の上、検討を進める。
			(3) 運賃の引下げによる利用促進について検討の余地がある。	(3) ① 上限運賃制を導入する。 ② 藤沢線、九千沢線、藤崎線の共通企画乗車券(例:片道1,000円で1日乗り放題)を発行する。	岩手県交通 岩手県交通	平成25年度	収支バランスを見極めた上で導入可能か検討する。
			(4) 藤沢病院を経由しないことため、通院利用者の利便性を高める余地がある。	(4) ① 藤沢病院への乗入れを行う。	岩手県交通	平成25年度	関係機関と調整の上、乗入れの検討を進める。
			(5) 周辺地域を運行する系統との接続が十分でない便がある。	(5) ① 藤沢町内で一部路線が重複する藤崎線との接続を高めるため、ダイヤの見直しを行う。	岩手県交通	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で検討する。
			(6) 経路が一部重複する他系統と、ほぼ同じ時間帯に運行している。	(6) ① 大籠線(千厩バスターミナル～藤沢間)のうち、運行時間帯が重複する便について、ダイヤの見直しを行う。	岩手県交通	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で検討する。
			(7) 高齢者等に配慮した乗降場所の改善について検討の余地がある。	(7) ① 花泉町内を中心に、フリー乗降区間を設定する。	岩手県交通	平成25年度	関係機関と調整を図る。
			(8) 高校入学時における生徒の通学利用についてPRを行う余地がある。	(8) ① 沿線に在住する中学三年生を対象として、高校入試前の12月までに路線に関する情報を提供する。	岩手県交通 一関市	平成25年度	学校に対するPRについては、全域的に取り組むべき課題として時期・方法等、関係機関と調整の上進めたい。
			(9) 通院利用者が多い系統であるため、高齢者に配慮したバス車両とすることが望まれる。	(9) ① 可能な限り低床車両を運行する。	岩手県交通	-	費用対効果として大きな改善は得られないが、中型・小型車両での運行については検討する。
			(10) 上屋などの待合施設がない停留所がある。	(10) ① 住民ニーズを踏まえ、待合所を整備する。	一関市	-	バスを待つ環境を整えることは、利用者の利便性の向上と利用促進につながるものと認識しておりますが、設置場所の確保や維持管理などにも課題があり、現状は地域が自主的に設置・管理しているものが多くあります。また、フリー乗降区間などの設定により、自宅近くから乗降できる方法などもあることから、待合所整備については、従来どおり地域の自主的な取り組みに委ねたいと考えております。
5	国道南線 (岩手県交通) 【国庫】	奥州市	(1) 沿線の学校・事業所への通学・通勤利用者の掘起しについて検討の余地がある。	(1) ① 沿線の学校(前沢高校・前沢明峰支援学校等)や事業所に対して、更なる路線のPRを行う。	岩手県交通 奥州市	平成25年度	学校に対するPRについては、全域的に取り組むべき課題として時期・方法等、関係機関と調整の上進めたい。
			(2) 沿線の商店(イオン前沢、水沢中心商店街)との連携による利用促進について検討の余地がある。	(2) ① イオン前沢や水沢中心商店街と連携して、利用促進を行う。 例:バスを使って来店した方への商店からの景品提供	岩手県交通 奥州市	平成25年度	利用促進に繋がる最良な策を社内で検討した上で、関係機関と調整を図りたい。
			(3) 類似系統(胆沢病院経由)との再編について検討の余地がある。	(3) ① 胆沢病院経由の系統との統合や、土日祝日の減便等について検討する。	岩手県交通	平成25年度	現在の利用状況、ニーズを踏まえ検討を進める。
			(4) 高校入学時における生徒の通学利用についてPRを行う余地がある。	(4) ① 沿線に在住する中学三年生を対象として、高校入試前の12月までに路線に関する情報を提供する。	岩手県交通 奥州市	平成25年度	(1)と同様
			(5) 系統名からは、どの地域を運行している系統なのか分かりにくい。	(5) ① 運行地域が分かりやすい系統名に変更する。	岩手県交通	平成25年度	変更時期も含め検討する。
6	国道北線 (岩手県交通) 【国庫】	北上市 金ケ崎町	(1) 類似系統(免許センター～胆沢病院)と合わせて路線を再編し、利便性を高める必要がある。	(1) ① 当該系統(北上駅前～金ケ崎町役場)は金ケ崎高校まで、類似系統(免許センター～胆沢病院)は金ケ崎町北部(赤鳥居前付近)まで運行するなど、運行形態を見直す。	岩手県交通	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で検討する。
			(2) イオンスーパーセンター金ケ崎店へのアクセスが不便である。	(2) ① イオンスーパーセンター金ケ崎店への乗入れを行う。	岩手県交通	平成25年度	関係機関と調整の上、乗入れの検討を進める。
			(3) 高齢者等に配慮した乗降場所の改善について検討の余地がある。	(3) ① 北上市相去地区においてフリー乗降区間を設ける。	岩手県交通	平成25年度	関係機関と調整を図る。

平成24年度バス補助路線アセスメント対象路線に係る対応状況・方針報告書

No.	路線名	関係市町村	課題	対応策	対応者	措置(予定)年月日	左記に対する対応状況・今後の方針
6	国道北線 (岩手県交通) 【国庫】	北上市 金ケ崎町	(4) 金ケ崎町田園バスとのダイヤ調整を行う必要がある。	(4) ① 国道北線と金ケ崎町田園バスとで運行時間帯が接近している便のダイヤを調整する。	岩手県交通 金ケ崎町	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で金ケ崎町と調整、検討を進める。
			(5) 北上方面行き始発便が、通学・通勤時間に合わない。	② 国道北線と金ケ崎町田園バスとで接続が十分でない便のダイヤを調整する。	岩手県交通 金ケ崎町	平成25年度	現在の利用実態と要望等を把握した上で検討する。
			(6) 沿線の学校・事業所への通学・通勤利用者の掘起しについて検討の余地がある。	(5) ① ニーズを踏まえ、北上方面行き始発便の運行時間帯を早めることについて検討する。	岩手県交通		
			(7) 沿線の商店(イオンスーパーセンター金ケ崎店)との連携による利用促進について検討の余地がある。	(6) ① 沿線の学校(金ケ崎高校等)や事業所に対して、時刻表の配布による路線のPRや、運賃優遇制度の導入等による利用促進策を講じる。	岩手県交通 北上市 金ケ崎町	平成25年度	学校に対するPRについては、全域的に取り組むべき課題として時期・方法等、関係機関と調整の上進めたい。
			(8) 高校入学時における生徒の通学利用についてPRを行う余地がある。	(7) ① イオンスーパーセンター金ケ崎店と連携して、利用促進を行う。 例:バスを使って来店した方への商店からの景品提供	岩手県交通 奥州市	平成25年度	利用促進に繋がる最良な策を社内で検討した上で、関係機関と調整を図りたい。
			(9) 同一名称の系統が2系統あり、名称からは運行区間が分からない。	(8) ① 沿線に在住する中学三年生を対象として、高校入試前の12月までに路線に関する情報を提供する。	岩手県交通 北上市 金ケ崎町	平成25年度	(6)と同様
7	青山松園線 (岩手県交通) 【県単】	盛岡市 滝沢村	(1) 利用者等のニーズを踏まえ、運行ダイヤの見直しについて検討の余地がある。	(9) ① 運行区間の分かる系統名に変更する。	岩手県交通	平成25年度	変更時期も含め検討する。
			(2) 沿線高校の通学利用の利用促進について検討の余地がある。	(1) ① 滝沢営業所6:50発の便について、需要によっては従前の7:24発に戻すなど、運行時間帯を遅くする。	岩手県交通	平成25年度	今後の利用状況を把握した上で、必要に応じ適時見直しを図る。
			(3) 高校入学時における生徒の通学利用についてPRを行う余地がある。	② 滝沢営業所8:24発の便について、需要によっては沿線高校の始業時間に合わせた運行時間帯に見直す。	岩手県交通	平成25年度	(3)と併せて利用促進に繋がる策を検討する。
			(4) 老朽化した停留所標識がある。	(2) ① 通学区間以外の区間(繁華街等)も乗降可能な「まちなか企画乗車券」等を発行する。	岩手県交通		
8	二戸線 (岩手県北自動車) 【国庫】	二戸市 九戸村	(1) 伊保内高校生の通学利用促進策を講じる余地がある。	(3) ① 沿線に在住する中学三年生を対象として、高校入試前の12月までに路線に関する情報を提供する。	岩手県交通 盛岡市 滝沢村	平成25年度	学校に対するPRについては、全域的に取り組むべき課題として時期・方法等、関係機関と調整の上進めたい。
			(2) 高校入学時における生徒の通学利用についてPRを行う余地がある。	(4) ① 老朽化した停留所標識を更新する。	岩手県交通 九戸村	平成25年度以降	適時更新を図る。 利用者の実態及び住民の意向調査を行ったうえで検討する。
			(3) 路線の更なる利用促進・PRを行う余地がある。	(1) ① 伊保内高校生を対象とした、通学定期購入費補助制度を導入する。	岩手県北自動車 二戸市 九戸村	平成24年12月～	九戸村・二戸市と共同で提供する情報を整理する。
			(4) 沿線施設や観光イベントとの連携等による路線のPRについて検討の余地がある。	(2) ① 沿線に在住する中学三年生を対象として、高校入試前の12月までに路線に関する情報を提供する。	岩手県北自動車 二戸市 九戸村	平成25年4月～	九戸村・二戸市と共同で乗り継ぎに係る時刻をまとめ、時刻表化する。
			(5) 伊保内営業所からの発車場所が分かりにくい。	(4) ① 市町村や沿線施設等のホームページでのPRや、沿線で行われる観光イベントの周知等を行う。	岩手県北自動車 二戸市 九戸村	平成25年度以降	二戸市とともに情報を共有し、PRに努める。
9	岩手県立大学線 (岩手県北自動車) 【国庫】	盛岡市 滝沢村	(1) 盛岡バスセンター～盛岡駅前間の更なる利用促進を行う余地がある。	(5) ① 伊保内営業所の発車位置を表示する。	岩手県北自動車	平成25年4月～	現状の利用客の動向も踏まえ、表示の方法を検討し、実施する。
			(2) 岩手県立大学への通学利用の促進策を講じる余地がある。	(1) ① 盛岡バスセンター～盛岡駅前間の運賃が100円であることについて、より大々的にPRする。	岩手県北自動車	平成24年2月～	HPでのPR、車内・バス停への掲示等更なるPRを実施する。
			(3) 路線の更なる利用促進・PRを行う余地がある。	(2) ① 滝沢駅前～岩手県立大学間の運賃を130円から100円に引き下げる。	岩手県北自動車	-	(要検討)
10	軽米線 (ジェイアールバス東北) 【国庫】	二戸市 軽米町	(1) 金田一温泉センターとの連携による利用促進策を講じる余地がある。	(3) ① IGRや他のバス事業者を含めた、分かりやすい共通時刻表を作成する。	岩手県北自動車 盛岡市 滝沢村	平成25年4月～	他事業者の意向も確認しながら、市町村主導で実施を検討する。
			(2) 高校生の通学利用の実態に即したダイヤへの見直しについて検討の余地がある。	(1) ① 金田一温泉センターの利用者を対象とした企画乗車券を発行する。	ジェイアールバス東北 二戸市	-	現在、温泉センターをご利用されているお客さまの大多数は自家用車を使用しています。また、二戸市と共同で企画乗車券を発行するには、様々な要因をクリアしなければなりません。今後できるかどうかも含めて二戸市と検討してまいります。
			(3) 路線の更なるPRを行う余地がある。	(2) ① 二戸駅19:05発の便の利用者が少ないため、運行時間帯を繰り上げるなど、適切なダイヤ設定とする。	ジェイアールバス東北	-	二戸発軽米行き19時05分のバスは、盛岡・浄法寺方面及び一戸方面からのバスの到着を待って軽米まで運行しています。また、高校生のクラブ活動に合わせた時刻の設定にもなっていますので、当面は現行のままお願いします。
			(4) 高校入学時における生徒の通学利用についてPRを行う余地がある。	(3) ① 他のバス事業者や市コミュニティバスを含めた、分かりやすい共通時刻表(二戸駅～岩谷橋間)を作成する。	ジェイアールバス東北 二戸市	-	二戸駅～岩谷橋間は、弊社及び二戸市のコミュニティバス並びに岩手県北バスが運行してはいますが、乗降するバス停が異なっているため共通の時刻表を作成することは困難であります。お客さまにご不便をおかけしないようそれぞれが責任をもって時刻表を作成し、必要な箇所に掲示するとともに配布しております。
				② 市町村や沿線施設(金田一温泉センター・県北青少年の家)のホームページや、市町村広報誌でのPRを行う。	ジェイアールバス東北 二戸市 軽米町	実施中	弊社、二戸市、軽米町のホームページでしっかりとPRを行っています。また、各ホームページから弊社のバス時刻表にリンクされています。沿線の各施設につきましては、二戸市及び軽米町で積極的に働きかけを行っています。
				(4) ① 沿線に在住する高校入学を控えている中学三年生を対象として、路線に関する情報を提供する。	岩手県北自動車 軽米町	実施中	沿線にある中学校に、時刻表を配布する等通学手段としてのバスのご利用をPRしていきます。